たもんじ交流農園便り

2022年1月号 Vol.46

本当の意味で「すみだの夢」を実現していきたい6年目の春

寺島・玉ノ井まちづくり協議会　理事長 牛久光次

早いものでこの１月でたもんじ交流農園創設の構想を始めてから６年目に入ろうとしています。その６年前の2017年１月に、まちなか農園プロジェクトとして具体的な候補地を得て、どのような農園を創ろうかと沢山の議論を重ねて参りました。資金づくりも難題でしたが、何よりも関係者の想いや意識・意思を集約していく過程に多くの時間を費やしたことが功を奏し、今の農園の姿が出来上がってきたものと強く感じています。

農園部の皆さんによる「春の七草」の定植

共用の畑を世話焼くボランティアのメンバーがどんどん増え、和気あいあいに作業している姿や農園に訪れる人々がそれぞれに明るく過ごす姿を見ていると、本当に必要な空間だったんだなと感慨深い思いに溢れます。

難題であった資金調達についてもタイミング良く「すみだの夢応援助成事業」が創設されたことは大きかったと思います。プレゼンを通し私たちの目指すことや夢を語り、それによってさらに深まり、クラウドファンティング型ふるさと納税の仕組みを理解するのは難しく、しかしそのおかげで地に足のついた計画が進められてきたもの思われます。そして、４回目の2021年度「すみだの夢」も多くの皆さま方のご支援により目標額100万円を上回り112万５千円を得ることが出来ました。この感謝に報いるために、これから本当の意味で「すみだの夢」を実現していきたいと思っています。新年を迎えまして皆さま方のより一層のご多幸を祈願しながら、皆さま方の応援に心より御礼を申し上げます。

“てらたま農園部から”

第６回～霜柱が立った！～

この冬は寒いですね。12月後半からこっち何度か、たもんじ交流農園の畑に霜柱が並び、池に氷が張っているのを見かけました。こんなに寒くて野菜や花壇の花は大丈夫なのでしょうか？　野菜の霜対策をネットで調べてみました。

まず、保温のために、地面を黒マルチや、わら、もみがらくん炭、腐葉土などで覆う。そして、野菜にも不織布や防虫ネットなどをかけるとよいそうです。特にタマネギや植え付けたばかりの葉もの野菜は要注意で、霜柱が立ちそうな日は朝のうちに畑に行き、手や足で霜柱をつぶす、苗が浮き上がっていたら押さえ込むことが必要とのこと。（参照：シェア畑「初霜前に準備したい真冬の霜対策」https://www.youtube.com/watch?v=x15lhsnXpPA）

ちなみに、霜柱ができやすいのは、冬のよく晴れた、最低気温が氷点下になるような日の朝です。場所は、水分を適度に含むフワフワの土ということで畑がまさにその条件にあてはまりますね。（参照：ウェザーニュース「冬の風物詩、霜柱にまつわる豆知識」https://weathernews.jp/s/topics/201712/080045/）

もみ殻くん炭は倉庫肥料置き場下段に置いてありますので、ご自由にお使いください。

うちの畑じまん 第31回 真野博史さん

昨年５月より農園に参加しております真野です。

早々に、きゅうり、トマト、ミニトマト、寺島ナス(東端)、千両ナス(西端～畝を隔てましたので、影響はなかったのかな？と思っております)、ピーマンと夏野菜の苗を植え、夏の収穫を存分に楽しみました。

失敗談から始めますと、きゅうりは背丈は立派に成長したものの、シーズン通じてわずか数本の収穫にとどまりました。また種から育てようとしたオクラは、きゅうりの影になったせいか、まったく育たずどこにあるか見失う始末。更に「ころたん」ことネットメロンは、始めはお隣の植木に絡みつく勢いで空もエリアも侵食したものの、７月を前に枯れはてる（原因不明）という具合でした。

自慢はミニトマトで、8-9 月は、3～4 日に一度の割合で収穫するものの、多いときは 200 粒を超える収穫で、サラダ・パスタソース等で消化するのも大変でした。このミニトマト、なんと年末まで頑張ってくれ、12 月に入っても 20 粒/週を超える収穫でした。さすがに、年の瀬の 12 月 29 日に供養しました。

この冬は、白菜＆キャベツ（うまく球状になりつつあります）、ブロッコリー、茎ブロッコリー、サニーレタス、小松菜、さやえんどう、スナップエンドウと育ててますが、現在半分以上が休耕地の状況です。来る春に向け、何を育てようか、思いを重ねる毎日です。

いよいよ連載開始!! "たんたんタモン" 田村風來門

もうすっかり、あけましておめでとうございます。正直ホッとしました。カンタンに行けると思っていましたが、どうしてどうして。５～６回描き直すことに…。たんたんタモン、タヌミ、ポンタンは多聞寺のどこかに住む狸。出会えたら超ラッキー！夜中に畑を耕してくれてるよ。乱暴なカラスのゴンタ、ハクビシンのハックから畑を守ってくれている。さあ、物語の始まり始まり～！

12/19(日)送別会! 農園部で頑張って頂いた伊澤さんが博多に転勤することになったためウッドデッキでお別れ会を開き、記念に「大根のブーケ」をお送りしました(これ流行るかも)。伊澤さん有難うございました。今後ともお元気で!!

12/26(日) 抽選会!! フルとハーフの各１区画を返却頂くことになったため、新たな会員さんを募集したところ９名もの応募があったため、厳正なる抽選会を農園で開催し、その模様を Zoom でライブ配信しました。プレゼンターとして髙木先生、多聞寺の岸田様、そしてたまたま水やりに来ていた診断士の佐々木さんにお願いし、新たに２組の農園の仲間が誕生しました。

水口アドバイザーご指導日：1/23(日)、2/27(日) 10:00～	農園部作業日：毎週日曜 10:00～

第２回 たもんじ交流農園 フォトコンテスト 作品募集!!

第 2 回のテーマは「小さい春みつけた」「つながっているもの」「こどもたちと農園」のいずれかです。締め切りは 1/31(月)、奮ってご応募お待ちしております。

たもんじ交流農園便り
№46-般 2022.1.17 発行
題字　田村風來門
編集　末林和之

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先　小川 剛(080-3421-3115)
セブン-イレブン記念財団

HomePage　Facebook